

大きな荷物らくらく 車椅子でも乗車可能

UD タクシー導入加速

障害者や大きな荷物を抱えた人も快適に利用できることを目指す「ユニバーサルデザイン(UD)タクシー」。県内での導入台数は、今年3月末の5社12台から、半年余で11社22台へと倍増した。次世代タクシーとして国

「(36)は苦笑いする。同社が加盟する県タクシー協会沼津・三島支部では10月、同社など3社が5台を初導入した。支部長を務める鈴木さんは「お目見えしたばかりで、一般のタクシーに比べ割高とのイメージがあるよ

県内11社に22台

も導入を後押しするが、普及には認知度の低さや維持費の高さなど課題もある。

「駅で待機していると、利用者は敬遠して後続のセダンタイプに乗ろうとする」。三島市の平和タクシー社長鈴木智善さん

「うだ」と話す。ミニバンがベースのUDタクシーは、室内空間が広く、後部の荷室にはスロープを使って車椅子や自転車が載せられる。介護保険が適用になる人が対象の介護タクシーと違い、足を骨折した人な

認知度、維持費が課題

県タクシー協会沼津・三島支部加盟3社が導入したUDタクシーの出発式
11月10日、沼津市役所

ど一時的に車椅子を使う場合にも乗車できる。運賃は一般のタクシーと同

一だ。国土交通省は2011年度、車両の購入費として60万円を助成する制度を設けた。12、14年度は取得税と重量税を免除している。

国交省静岡運輸支局によると、12年度末には県内で12社29台(補助金交付ベース)が導入される見通し。担当者は「旅先でも利用できるようなれば移動が困難な人の行動範囲が広がる」と強調する。

UDタクシーはガソリンを使う。従来のLPガ



ス車に比べて維持費はかさむが、浜松市中区の遠鉄タクシーは、県内で最多の7台を導入している。尾島一光常務(59)は「車椅子利用者だけでなく、大きな荷物を抱えた人や足が悪い人などさまざまな乗客がいる。UDタクシーを増やして多様なニーズに応えたい」と話す。